

## 【オプションメニュー提供条件書】 Enterprise Cloud Power オプション

### 改版履歴

版	概要
第1版	初版
第1.1版	Power オプション コンピュートリソース タイプ追加 (SSS) 疎通確認用アプリケーションの追加
第1.2版	Power コンピュートリソース タイプ追加 (SS+) 開発用ライセンスの追加 利用可能な Enterprise Cloud データセンターの追加
第1.3版	Power コンピュートリソース タイプ追加・見直し OS バージョン改定 開発要ライセンスの追加 利用可能な Enterprise Cloud データセンターの追加

#### 1. 本書の目的

- ・ 本書は、Enterprise Cloud サービスのサービス機能説明書で規定するオプションメニューである Enterprise Cloud Power オプションの機能を解説するための資料です。ご契約者さま限りの文章となりますので、取扱いにはご注意ください。
- ・ 内容に不明な点がありましたら、弊社営業担当者もしくはサポート窓口までご連絡ください。サポート窓口の連絡先は、本書内に記載しています。
- ・ なお、LAN コンソールの利用方法の詳細については「Power オプションご利用ガイド」をあわせてご利用ください。
- ・ サービスの機能追加・変更などに伴い、本書の記載内容とは異なっている場合があります。本書の最新版や、ご利用ガイドは下記のホームページよりダウンロードできます。ご利用の際は、開通時、もしくは別途ご連絡している ID/パスワードを利用してアクセスをお願いします。

Enterprise Cloud ご契約者さま向けサポートサイト <a href="http://www.ntt.com/bhec/data/support.html">http://www.ntt.com/bhec/data/support.html</a>
---

- ・ IBM i は、International Business Machines Corporation の商標です。

## 2. Enterprise Cloud Power オプションとは

### (基本)

- 本オプションは、Enterprise Cloud をご契約いただいたお客様に、IBM i オペレーティングシステムが動作するコンピュータリソース（以下、Power コンピュートリソース）を提供します。
- 本オプションは、Power コンピュートリソースとして日本情報通信株式会社（略称：NI+C）が運営するクラウドメンバーシップサービスと Enterprise Cloud と相互接続し、提供します。
- 本オプションは、IBM i オペレーティングシステム提供ユーザープロフィールである QSECOFR をお客様への引き渡します。引き渡し後は、システムセキュリティの観点から、当社は当該アカウントのパスワードを管理しません。
- 当社による代行作業、保守用のユーザプロフィール（NCOMOPE）をお客様に作成いただき、パスワードを管理いただきます。代行作業や保守が必要ない期間は、お客様にて disable に設定ください。当該ユーザプロフィールの利用が必要な場合、当社からパスワード払出しを依頼します。
- 本オプションは、お客様の依頼にもとづき、IBM i オペレーティングシステムへ P T F の適用作業を代行実施します。代行作業には、お客様から作業用アカウントを一時的に払い出しいただきます。
- IBM i の制限状態等の管理者作業に利用する LAN コンソール用アプリケーション（IBM i Access for Windows）を、お客様の Enterprise Cloud コンピュートリソースへインストールする代行作業を提供します。
- IBM i への疎通不良確認のため、LAN コンソール用コンピュータリソースへ、当社保守オペレータがアクセス可能な Windows Administrator 権限のアカウント(operator)を設定するとともに、疎通確認用アプリケーションをインストールします。

### (オプション)

- 本オプションは、OSバージョンアップ・リリースアップを追加して提供できます。
- 本オプションは、Power コンピュートリソースへの V.24、V.35 用お客様回線接続、仮想テープライブラリ機能、仮想テープライブラリの遠隔コピー機能を追加して提供できます。
- 本オプションは、運用支援（運用エラーログ確認、定期性能確認）を追加して提供できます。

### (ご利用条件)

- 本オプションをご利用いただくには、LAN コンソール環境が設定・利用可能な Enterprise Cloud のコンピュータリソース、インターネットゲートウェイまたはVPNゲートウェイのいずれか、v ファイアウォールまたは統合ネットワークアプライアンスのいずれか、Windows ライセンス、コロケーション接続のご契約が必須です。
- Power コンピュートリソースは、1 の論理区画（以下、LPAR）毎に 1 のコンピュータリソース タ

IPを選択いただきます。ただし、プールタイプを除きます。

- ・ バースト機能付 Power コンピュートリソースとは、LPAR への設定量を超えた CPU リソースをバーストエフォートで利用できるコンピュートリソース タイプです。
- ・ Power コンピュートリソースにプールタイプを選択する場合、LPAR への CPU、メモリ、ASP の割当量は、追加リソースプールと同じ単位で、上限・下限の範囲内で任意に設定できます。
- ・ 1 のサーバセグメントにプールタイプと他のタイプを混在することはできません。
- ・ 既に Enterprise Cloud をご利用中で未使用のセグメントがない場合は、本オプション用に追加セグメントのご契約が必須です。
- ・ 以下に示すパラメータは当社が決定・設定します。お客様による変更はできません。

対象	パラメータ	備考
サーバセグメント後半 /27 ビット分の I P アドレスの管理	後半/27 ビットは当社のサービス提供に必要な予約アドレスです。お客様にはご利用いただけません	当該 I P アドレス管理の対象のうち、本オプションが利用した I P アドレスは、Enterprise Cloud カスタマポータルで「Reserved」として表示します
サーバセグメントのデフォルトゲートウェイ	サーバセグメントに利用する IP アドレスのデフォルトゲートウェイは.1	Enterprise Cloud のゲートウェイを利用します
L A N コンソール (アプリケーション)	宛先アドレス、区画情報などの LAN コンソールセッション	
L A N コンソール用 V M への疎通監視用 AP 設定	・ 保守者用 Windows アカウント ・ 疎通監視用 AP 設定	保守オペレータがアクセス可能な Windows アカウントを設定します。常時疎通監視を行うため VM はシャットダウンしないで下さい。
L A N コンソールに割り当てる I P アドレス等	サーバセグメントの.253	保守上必要なルーティング情報を L A N コンソール用 V M の O S に設定します
L A N コンソール用 V M のコンピュートリソース下限	CPU : 1 コア メモリ : 1 G B ディスク : 8 0 G B	お客様が L A N コンソール用 V M の O S に、任意のアプリケーションをインストールする場合、当社は L A N コ

		ンソールの正常動作を保証しません
IBM i に割り当てる 1 つめの IP アドレス等	各 IBM-i 毎に.224 から連続した 4 つの I P アドレス	各 IBM i の仮想 I P アドレスには、4 つの I P アドレスのうち最若番を設定します。また、保守上必要なルーティング情報を IBM i に設定します
IBM i に割り当てる IBM i オペレーティングシステム提供ユーザープロフィールの初期パスワード	任意に決定します	開通案内で通知します。通知後は、速やかに変更し。お客様にて管理ください

### 3. 本オプションのメニュー

本オプションは、下記のメニュー構成です。

(基本)

カテゴリ	機能名	機能概要		
Power コンピュータ リソース	コンピュータ リソース (Power)	C P U、メモリ、ディスクの容量を割り当てた LPAR、LAN ポー ト、IBM iオペレーティングシステム (バージョン: V7R1、V7R2) で構成したコンピュータ環境。PTF 代行作業年 4 回を含む		
		スタンダードタイプ	CPW: 770 メモリ 4GB ASP 200GB	
		バースト	Sタイプ	CPW: 1,001 メモリ 6GB ASP 300GB
			Mタイプ	CPW: 1,925 メモリ 10GB ASP 400GB
			Lタイプ	CPW: 3,850 メモリ 16GB ASP 600GB
	プールタイプ	CPW: 7,700 メモリ 32GB ASP 1,000GB		
	L A N コンソール マネジメント	Enterprise Cloud 上の仮想マシンへの L A Nコンソール環境の代 行インストールおよび保守		
ネットワーク	Enterprise Cloud 接続 ゲートウェイ	Enterprise Cloud コロケーション接続との相互接続ゲートウェイ 機能		

なお、ASP は 100GB 毎のドライブイメージで構成されます

(オプション)

カテゴリ	機能名	機能概要	
Power コンピュータ リソース	追加コンピュータリソース (Power)	コンピュータリソースの各タイプに追加できるリソース	
		C P W	77 7700 (プールタイプの場合)
		メモリ	1GB 32GB (プールタイプの場合)
		ASP	100GB 1,000GB (プールタイプの場合)
	追加 P T F 適用	IBM i へのパッチ ( P T F ) の適用の代行作業 ( L P A R 単位)	
	O S バージョンアップ	IBM i のバージョン、リリースのアップグレード代行作業 (初期移行時にのみ申込み可能)	
	追加 O S ライセンス	IBM i に設定する各種機能ライセンスの追加	
	仮想テープライブラリ ボリューム	IBM i によるバックアップデータの外部保存先として利用できる仮想テープライブラリボリューム ( L T O 3 エミュレート。 800GB カートリッジ 12 本分相当)	
仮想テープライブラリ ボリューム遠隔コピー	仮想テープライブラリの遠隔コピー		
V.24/V.35 回線接続ポート	Power コンピュータリソースへの V.24/V.35 接続ポート (1 回線収容)		
ネットワーク	V.24/V.35 回線終端装置等 設置スペース	V.24/V.35 回線接続ポートに接続する通信用回線の終端装置等設置スペース (10U、0.5KVA まで)	
運用支援	エラーログ確認	OS および専用機能部のエラーログを定期的にチェックし、異常があった場合に電子メールで通知する	
	定期性能確認	パフォーマンスデータ (CPU、メモリ、ディスク、NW の使用状況) を常に 1 日分保管し、①ユーザが指定する月間ピーク日の利用状況を取得して、推奨値を超えてないかを確認し、超えている場合は、確認の上、直ちに電子メールで通知する	
移行支援	L T O テープマウント	お客様が移行用データを保存した L T O を Power コンピュータリソースにマウントする作業を実施します (最大 2 回、初回 + 差分)	

### 3.1 コンピュートリソースの上限・下限

追加コンピュートリソース (Power) によって設定可能な LPAR あたりの上限および下限は以下の通りです。

対象	LPAR あたりの上限値	プールあたりの上限値	プールタイプ利用時の LPAR あたりの下限値
C P U	15,400 C P W	15,400 C P W	385 CPW
メモリ	64GB	64GB	OS 依存 (V7R1 : 1GB 以上 V7R2 : 2GB 以上)
ASP	3TB	3TB	100GB
ドライブイメージ	100GB x 30	-	-
仮想テープライブラリボリューム	2	-	-
LAN ポート	1	-	-
V.24/V.35 ポート	1	-	-
Enterprise Cloud 接続ゲートウェイ	1	-	-
L T Oテープマウント	1	-	-

### 3.2 LPAR 数

1 の Enterprise Cloud 接続ゲートウェイあたりの LPAR 数の上限は以下の通りです

対象	上限値
LPAR 数	7

### 3.3 IBM iに含まれるライセンス

略称	名称	種別	機能概要	ユーザ数
SS1	IBM i	OS	IBM i 利用環境を提供。	無制限
	Media & Storage Extensions	OS オプション	BR1 を使用する際に必要となるオプション機能	無制限
	HA Journal Performance	OS オプション	HA を目的としてジャーナルを使用する際に、パフォーマンスを向上するオプション機能	無制限
AP1	IBM Advanced DBCS Printer Support for iSeries	印刷関連	帳票作成支援機能	無制限
IP1	IBM Infoprint Server for iSeries	PDF 生成	帳票を PDF に変換する機能	無制限
WE2	Web Enablement for i5/OS	WAS	Web sphere Application Server Express 版	無制限
XT2	XML Toolkit for IBM System i5	XML	XML に関するツールキット	無制限
AF1	IBM Advanced Function Printing Utilities	印刷関連	AFP プリンター対応帳票作成支援機能	無制限
FN1	IBM Advanced Function Printing DBCS Fonts for AS/400	印刷関連	AF1 や IP1 と一緒に使用するフォントセット	無制限
BR1	IBM Backup Recovery and Media Services for i	バックアップツール	保管/復元と保管媒体を管理するバックアップツール	無制限
PT1	IBM Performance Tools for i	パフォーマンス分析	パフォーマンスデータを取得/分析する機能	無制限
QU1	IBM Query for i	照会ツール	データ照会ツール	無制限



ST1	IBM DB2 Query Manager and SQL Development Kit for i	照会ツール	エミュレータベースで対話型 SQL をサポートする紹介ツール	無制限
XW1	System i Access Family	クライアント接続	クライアントからのエミュレータ接続や、GUI によるシステム管理をサポートする機能	無制限

### 3.4 IBM i に追加可能なライセンスおよび上限値

略称	名称	種別	機能概要	下限値	上限値
WDS	IBM Rational Development Studio for i	開発ツール	プログラム開発支援機能。 ・ Heritage コンパイラー ・ ILE コンパイラー ・ アプリケーション開発支援ツールセット (ADTS)	1	100
			Heritage コンパイラー (単体)	10	100
			ILE コンパイラー (単体)	10	100
			ADTS (単体)	10	100
WQX	IBM Web Query for System i	照会ツール	DB2 Web Query による Web ベースの照会ツール ・ 管理者・開発者ユーザ ・ ランタイムグループ ・ デベロッパーワークベンチ	1	20
DB1	S/38 Utilities for System i	開発ツール	システム/38 互換コンパイラー	1	無制限

#### 4. 提供データセンターについて

本オプションを利用いただけるデータセンターは以下の通りです。

国	名称
日本	横浜第一データセンター (Enterprise Cloud)
日本	関西 1 データセンター (Enterprise Cloud)
日本	埼玉第一データセンター (Enterprise Cloud)

なお、関西 1 の Power オプションは、日本情報通信株式会社の関西地区データセンターで提供します。

#### 5. 設定・変更

お客様より提出された申込書の内容に基づき、Power オプションを設定します。

## 6. 保守・運用

### 6.1 標準保守運用業務

Power オプションの不具合事象に関連する事象の解決および復旧作業を実施します。

### 6.2 計画保守

Power オプションのメンテナンスに関する情報は、一か月前までに情報提供します。

### 6.3 監視項目

本オプションは、IBM i に対して ping 監視を実施します。

#### Ping 監視の仕様

対象	仕様
IBM i の VIP	(エラー条件) 60 秒毎に 1 回の ping 監視を実施。Ping エラー連続 3 回でアラートとし記録します。 (回復条件) アラート発生後、Ping が 1 回成功した場合、回復とします。

### 6.4 技術的問合せ

本オプションは、IBM i に対する技術的質問を以下の条件で受け付け、回答します。なお、技術的問合せの内容によっては、ご回答できない場合があります。

対象	受付時間	受付方法
本オプションの提供範囲	平日 10:00-16:00 (年末年始除く)	電子メールによる受付

## 7. 納期、最低利用期間

### 7.1 標準納期

対象	標準納期
新規	Enterprise Cloud コロケーション接続の開通翌営業日から 5 営業日
Power 追加	5 営業日

### 7.2 最低利用期間

1 か月

## 8. リソース変更時の留意点

LPAR の利用開始後の Power コンピュートリソースの変更（プールタイプを含む）の制約は以下の通りです。

変更対象	変更内容	可否	LPAR 停止の要否
CPU	増	可	不要
	減	可	不要
メモリ	増	可	不要
	減	可	停止要
ASP	増	可	不要
	減	可	停止要
ライセンス	追加	可	不要
	削除	可	不要
仮想テープライブラリポリューム	追加	可	不要
	削除	可	不要
仮想テープライブラリポリューム遠隔コピー	追加	可	不要
	削除	可	不要
V.24/V.35 回線接続ポート	追加	可	不要
	削除	可	不要

## 9. その他

- CPW は現在利用可能な Power7+プロセッサにおける CPW 値を参考にしています。CPU が変更になった場合は、追加単位も変更になる場合があります。
- LPAR の名称は、当社が定めます。
- LAN コンソールの構成に必要な Enterprise Cloud コンピュートリソースは以下の通りです。

コンピュートリソース	容量
コンピュートリソースプール	CPU リソース : 1 GHz メモリリソース : 2 GB ストレージリソース : 100 GB

コンピュートリソース	容量
コンピュートリソース	CPU リソース : 1 GHz メモリリソース : 1 GB ストレージリソース : 80 GB Windows ライセンス : Windows2008R2

(以下余白)